

# エコセーバー-R350

## ⚠ 注意

- ・エコセーバー-R350を使用する前に、「オイルの点検」と「回収方法の選定」のチャートに従って、正しい状態で回収作業を行ってください。
- ・この点検は、回収作業前に必ず行ってください。この点検を怠ると、故障の原因となります。
- ・この点検項目は、エコセーバー-R350を正しく使用するための最低限のチェック項目です。その他の点検は、取扱説明書に従って実施してください。

## 回収作業前の点検に関する注意事項

### 1 コンプレッサオイルの汚れや量を点検

- コンプレッサオイル窓内のサイトグラスでオイルの量や汚れを点検。
- オイル量は、サイトグラスのほぼ中間位置が適正量。サイトグラスにオイルが見られない場合は、補充もしくは交換。
- コンプレッサオイルが、サイトグラスより見て汚れている場合は、使用時間が短い場合でも、ただちに新しいオイルと交換。
- ※ サイトグラスが見にくい場合は、懐中電灯などで照らすとよく見えます。
- ※ オイルの補充・交換方法は、取扱説明書のP31を参照。

#### POINT

原則的に、約500kgのガス回収を行った時点で、コンプレッサ内のオイルを交換するようにしてください。  
オイルを補充するより、こまめなオイル交換を行ったほうが、コンプレッサを長持ちさせることができます。

### 2 コンプレッサオイルの種類の確認

- コンプレッサオイルは回収するフロンに使用されているオイルと同種類のオイルに、コンプレッサおよびオイルセパレータ内のオイルを変更してください。オイルが適切でない場合、コンプレッサの潤滑不良や不純物（コンタミ）が発生し、コンプレッサが破損する可能性があります。
- オイルの補充・交換方法は取扱説明書の P31 を参照。

### 3 過充填防止装置の確認

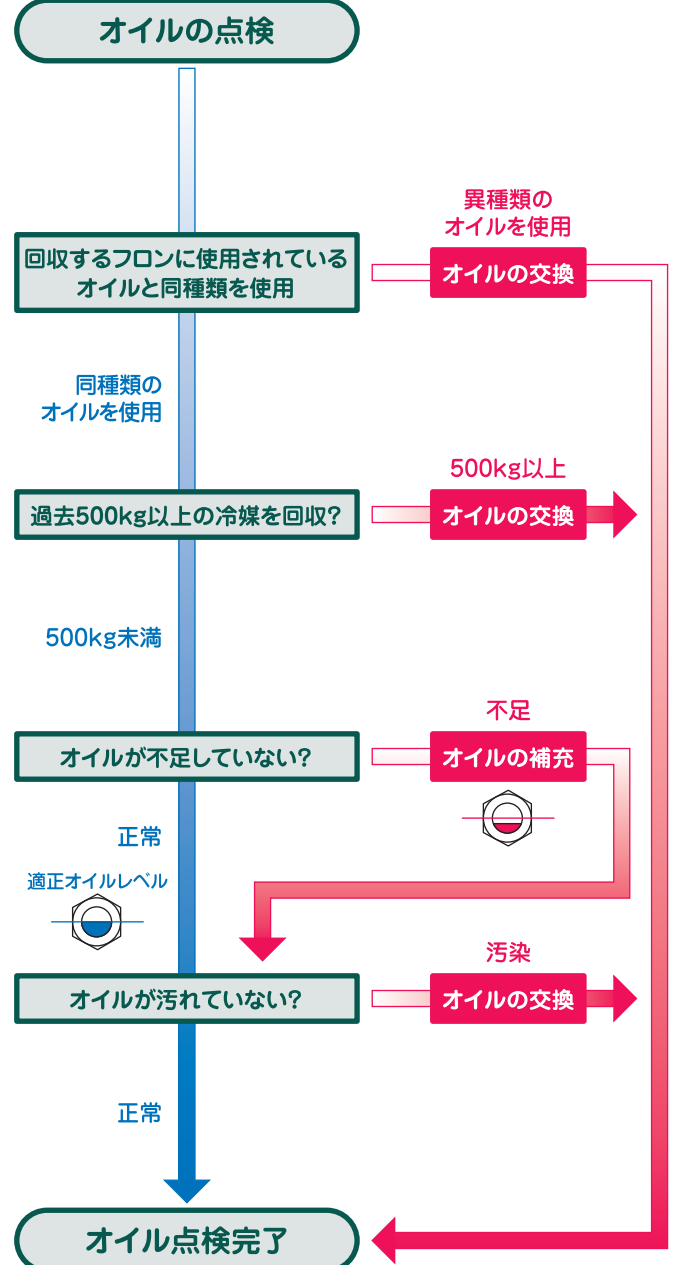
- 回収ポンプおよび、リミットスケールの過充填防止装置が、正常に作動し回収装置が自動停止することを必ず確認。
- 過充填防止装置の確認方法は、取扱説明書のP32を参照。

### 4 フィルタードライヤの寿命

- フィルタードライヤは消耗品です。汚れたフィルタードライヤを使用すると、回収効率が著しく低下する。
- フィルタードライヤを使用しないとガス回収を行っていても、回収するガス冷媒と一緒に汚染物質がコンプレッサ内に進入し、オイル劣化の原因となる。
- 90kgの冷媒回収を目処に交換する。

## 回収作業前の重要点検

### オイル点検チャート



# 基本的な接続方法

**注意** 操作方法などの詳細は必ず取扱説明書をお読みください。

## 回収方法の選定チャート

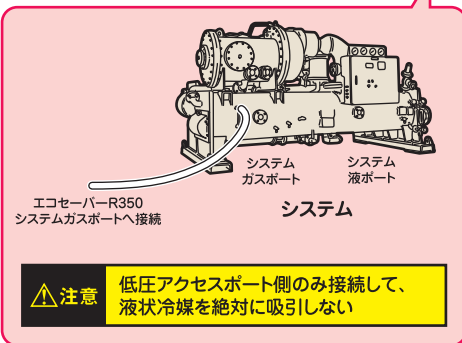
### 回収方法の選定

冷媒封入量が多量?

少量

ガス回収

多量



プッシュプル回収が可能?

可能

プッシュプル回収

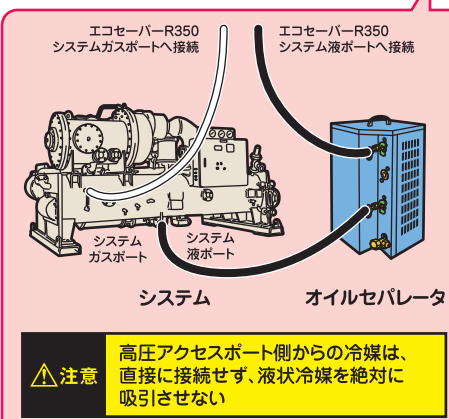
不可

ポンプダウンが可能?

不可

ガス回収

可能

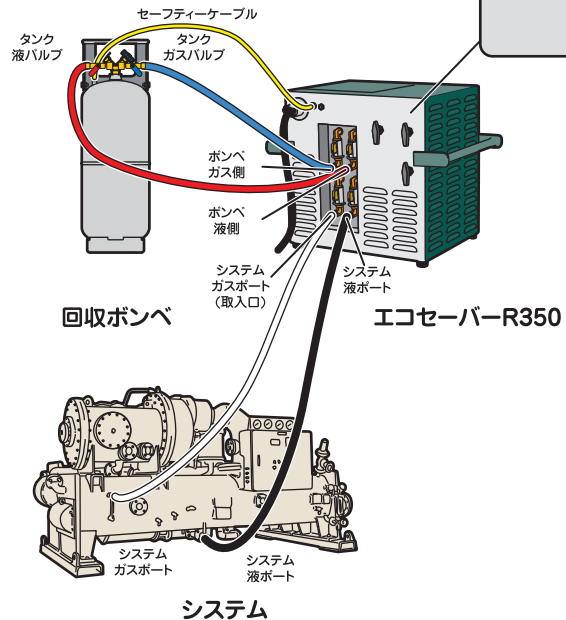
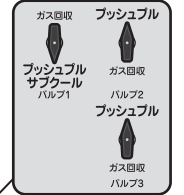


液状冷媒は他の回収機で回収

※ R350以外の回収機でも十分な回収能力を得ることができます。液状冷媒のみを100Vタイプのエコサーバーシリーズフロン回収装置を使用して回収し、その後ガス状冷媒をR350で回収する方法が、効率のよい回収方法の一つです。

## プッシュプル回収接続

### 操作バルブ位置



## ガス回収接続

### 操作バルブ位置

